

I. 広東省

1 2019年1月～4月までの広東省の貿易総額は2.12兆元

●税関総署広東分署の発表によれば、2019年1月～4月の広東省の貿易総額は2.12兆元でそのうち輸出総額は1.27兆元で前年同期比2.4%増だった。中国全体の貿易総額に占める広東省の割合は22.3%だった（3日付「南方日報」1面）。
（当館注）2018年に税関総署広東分署が発表した2018年1月～4月までの、広東省の貿易総額は2.1兆元。

2 反腐敗にかかる処分

●広東省紀律検査委員会・監察委員会は、梁許賛・江門市副市長を重大な規律違反の疑いで調査中であると伝えた（4日付「南方日報」）。

3 韶関市にビッグデータの産業拠点を建設

●韶関市の関係者によれば、広東省韶関市は、総投資額65億元の「韶関ビッグデータスマート産業イノベーションバレープロジェクト」を今年中に着工し、5年以内に完工を目指す。韶関市の計画によれば、2025年までにビッグデータの産業システムを整備し、ビッグデータ産業の規模を100億元、関連産業を500億元まで引き上げる（5日付「南方日報」9面）。

4 李希・広東省党委書記率いる中国共産党代表団がインドを訪問

●5日～8日、李希・中国共産党中央政治局委員兼広東省党委書記率いる中国共産党代表団がインドを友好訪問し、スワラージ外相、マダフ・インド人民党総書記、野党幹部、ルパニ・グジャラート州首相等とそれぞれ会見し、また、中国（広東）－インド（クジャラート）経済・貿易交流会等のイベントに参加した。李希・書記は中国とインドは、多極化の推進、経済のグローバル化、多国間主義等の重大な問題上に存在する共同利益を擁護し、中国はインドと共同で挑戦に対応し、発展のチャンスと共に享受していくこと強調した。また、広東省とインドの地方との交流・協力関係を深化し、中国とインドの更なる緊密な発展のパートナーとして不断に関係を強化したいと述べた（9日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 広州市でシェアリング自転車投入の公開入札が開催

●このほど、広州市でシェアリング自転車投入台数を運営会社に割り当てるための公開入札が行われた。摩拜信息技術有限公司（ブランド名：摩拜単車）が18万台、上海鈞正網絡科技有限公司（同：哈ラ（ロヘンに羅）単車）が12万台、広州騎安科技有限公司（青桔単車）が10万台の割り当てを落札した（5日付「南方日報」9面）。

Ⅲ. 深セン市

1 ファーウェイと中国郵政が戦略的提携協定を締結

●5日、新華社通信社によれば、ファーウェイ（華為）と中国郵政グループが戦略的提携協定を締結した。協定によれば、全面的・戦略的協力パートナーシップを双方で築き上げ、強みを補完し合うことを通じて、資源共有、金融業務、科学技術イノベーション、物流、人材育成等の方面で協力関係を深化させ、ウィンウィンの関係を実現していく。また、協定によれば、中国郵政とファーウェイは共同で「中国郵政・ファーウェイ新技術応用実験室」を創設し、また、中国郵政儲蓄銀行とファーウェイは共同で「郵政儲蓄銀行・ファーウェイ連合イノベーションセンター」を創設する（6日付「深セン特区報」4面）。

Ⅳ. 福建省

1 2018年の福建省の都市部民間企業年間平均給与は52,930元

●福建省統計局の発表によれば、2018年の福建省の都市部民間企業年間平均給与は52,930元で、2017年の48,830元に比べ4,100元増加した。名目上で前年同期比8.4%増だった（7日付「福建日報」2面）。

Ⅴ. 広西チワン族自治区

1 南寧市の地下鉄3号線の試験運行が開始

●6日、南寧軌道交通（地下鉄）3号線が全線開通し試験運行が始まった。同3号線は23駅で全長は27.9キロメートル。江北と江南五象新区を結ぶ中核となる路線で、興寧区、青秀区、西郷塘区、良慶区の4大市街地区及び高新区、五象新区の2大開発区を通る（7日付「広西日報」1面）。

Ⅵ. 海南省

1 特になし。

（了）